

# 元気応援 EVENT MANUAL 2026



「元気応援イベントマニュアル」は、薬局が、地域の皆さまの元気で楽しい暮らしのお手伝いができるような健康イベントの作り方や実際の事例を項目ごとにまとめています。このマニュアルを参考に、健康イベントを企画・開催し、薬局が地域の健康を守る場所であるということをアピールしていきましょう。

# 2026年度 おすすめ元気応援イベントは「熱中症対策」

近年、熱中症の搬送者数は増加傾向にあり、昨年は6月後半から猛暑日が続出し、9月にかけて厳しい残暑が続いたため、全国の熱中症による救急搬送者数<sup>※</sup>は100,510人となり、昨年より2,932人増加しています。そこで2026年の「薬局へ行こう!ウィーク」では、薬局から熱中症対策の啓発・普及活動を行うことを推進します。まずは、**PLAN 1** からでも取り組んでみませんか?

※2025年5月から9月の救急搬送者数（総務省消防庁報告資料より）



## PLAN 1

### 季節の健康レシピ「熱中症対策」を配布しよう

全国の class A 会員薬局に在籍する管理栄養士の「class A チーム管理栄養士」のメンバーで制作した「季節の健康レシピ『熱中症対策』」を印刷して配布しましょう。熱中症チェックリストの結果から、おすすめの熱中症対策やレシピなどをご紹介してみましょ。季節の健康レシピ『熱中症対策』は、Web Info からダウンロードして印刷することができます。



Web Info>活動>元気応援プロジェクト>class A チーム管理栄養士>季節の健康レシピ「熱中症対策」

## PLAN 2

### みんなのヘルスケア「熱中症」でミニセミナーを開こう

class A 基本サービスの「みんなのヘルスケア」は、30分くらいでわかりやすく健康に関するミニセミナーができるスライド資料をご用意しています。このたび、「熱中症対策」のスライドを追加します。(2026年4月末予定)。スライドのプレビュー(PDF)はWeb Info よりご覧いただけます。



※スライドはイメージです

Web Info>基本サービス>みんなのヘルスケア>熱中症対策

## PLAN 3

### 「熱中症対策アンバサダー講座」を受講して薬局から熱中症予防を呼びかけよう

今年度も、大塚製薬株式会社主催・株式会社クラスAネットワーク協力による「熱中症対策アンバサダー講座(オンデマンド)」を開催します。正しい知識をもって熱中症対策をおこなうことができるよう、薬局の皆さんから、身近な人に呼びかけていく必要があります。「熱中症対策アンバサダー」として地域の皆さんに予防や対策法を呼び掛けましょう。詳細・お申し込みはWeb Info をご覧ください。



ポスターは2025年のものです

Web Info>活動>元気応援プロジェクト>熱中症対策プロジェクト

class A 薬局の健康情報紙「Life 6月号」では、「熱中症対策」を特集する予定です。ぜひ「熱中症対策」をLifeを配布しながら呼びかけましょう!

# 目次

## イベントの計画から実施まで

- 03 楽しいイベント実施の“コツ”
- 03 イベント開催までの流れ
- 04 LINE公式アカウントを活用しよう！
- 05 集客に案内チラシを作成しよう！
- 06 イベントの周知、集客の方法
- 07 6つのステップで簡単！元気応援イベント デザインシート
- 08 当日の役割・準備物・スケジュール

## 試食会・試飲会

- 09 管理栄養士による栄養相談  
みやこ薬局（京都府）
- 09 日替わりメニューで開催  
リヒト薬局（埼玉県）
- 09 ポスターや小銭トレイを使って告知  
おくやま薬局（滋賀県）
- 10 自社オリジナルの漢方茶の試飲  
株式会社薬心堂（福岡県）
- 10 機能性表示食品で試食会を立案

## 測定会・健康チェック

- 11 肌年齢・血管年齢・脳年齢測定を毎年実施  
ヒロ薬局（神奈川県）
- 11 年に一度の「骨密度測定会」  
おぐりす薬局（京都府）
- 11 「薬栄」連携して、血流スコープを使って「毛細血管を見て見よう」  
ABC薬局 水無瀬店（大阪府）
- 12 野菜摂取チェックと握力測定を実施  
いちい薬局（青森県）
- 12 ロコモチェック（立ち上がりテスト）がきっかけで運動が習慣に  
小林薬局（鳥取県）

## 体験会・勉強会・教室

- 13 あえて薬局で通常体験しないイベントを開催  
久留米中央調剤薬局（福岡県）
- 13 パーテナーを招きカクテル教室を開催  
あんず薬局（佐賀県）
- 13 大人の折り紙教室を毎月開催  
天心堂梅崎薬品（福岡県）
- 14 子ども薬剤師体験を開催  
フクシマ薬局（愛知県）
- 14 月に1度、アロマのハンドトリートメントを実施  
オリーブ薬局（大阪府）

## ウォーキング・運動・ストレッチ

- 15 リハビリテーションクリニックと散歩＆相撲部屋見学ツアー  
オリーブ薬局（東京都）
- 15 協賛企業提供の賞品を獲得できるウォーキングイベント  
井上薬局（群馬県）
- 15 健康アップ教室参加後に「やくぜんカレー」を販売  
萬屋薬局（山形県）
- 16 2階のスペースでストレッチ体験教室を開催  
かわしま薬局（鳥取県）
- 16 シナプソロジー体験教室を開催  
マスカット薬局（岡山県）

## イベント・コンサート

- 17 七夕の短冊に願いを書こう  
杉岡調剤薬局（福岡県）
- 17 認知症サポートイベント「RUN(ラントモ)」に参加  
白澤薬局段上店（兵庫県）
- 17 懐かしの映画鑑賞会  
まなべる薬局（宮崎県）
- 18 バイオリンとピアノのミニコンサート  
げんき堂薬局（佐賀県）
- 18 ギター演奏会  
岡村薬局（大阪府）

## 地域連携・薬局・薬剤師会連携

- 19 魚の移動販売との連携  
柿の木薬局（岡山県）
- 19 地域の就労支援団体との連携  
キズナ薬局（山形県）
- 19 「おかやまケンコー大作戦」事業への参加  
岡山県岡山市の薬局（岡山県）
- 20 墨田区行政と薬剤師会の連携イベント  
墨田区薬剤師会（東京都）
- 20 「薬局へ行こう！ウィーク」の勉強会で賛同者を増やす  
川西市薬剤師会（兵庫県）

## イベントテーマ別

- 21 薬局ではじめての歯周病リスク検査を実施  
ラベンダー薬局（秋田県）
- 21 地域の方へ感謝 わくわく健康フェア  
アイアイファーマシー（埼玉県）

## メディア・SNS

- 22 地元メディアにプレスリリースを発信  
ヒエズ調剤薬局（鳥取県）
- 22 ケーブルテレビの活用  
オリーブ薬局（東京都）

## 薬局へ行こう！ウィーク 活動レポート 2025

- 23 「ねもカフェ」で睡眠セミナー開催  
ねもと薬局（茨城県）
- 24 管理栄養士による栄養相談会  
ふたば薬局（埼玉県）
- 24 およこほけんしつ&スタンプラリー  
水戸薬局（東京都）
- 25 ヨーヨー釣り&経口補水液試飲会  
ABC薬局かんまき本店（大阪府）
- 26 熱中症予防！イオンウォーター試飲会  
マルゼン薬局（大阪府）

# イベントの計画から実施まで

## 楽しいイベント実施の“コツ”

1

### 目的をあらためて考える

イベントを計画するときは、やり方に気持ちが先行しがちです。なぜこのイベントをするのか、あらためて目的を考えてみましょう。例えば「健康の楽しさを通じて、年齢や地域を超えたコミュニティ作りをする」など具体的な目的を設定してみましょう。

2

### 裏方に徹さない

裏方に回らず、積極的に企画に参加したり、お客さまと話したり、お客さま同士をつないだり、ひとりひとりが主催者であるという意識を持ちましょう。お客さまから見れば、薬剤師も事務スタッフも薬局のスタッフ。普段は聞けないことを聞くチャンスでもあります。

3

### 実施は準備が9割

「測定器をレンタルしなきゃ」「試飲会のためにコップを用意しよう」という物の準備だけでなく、参加者に最高の体験をしていただくための心の準備も考えてみましょう。「今日は来て良かった」と言ってもらえることが最高の褒め言葉です。

## イベント開催までの流れ

### ▼ プランニング（1カ月前まで）

デザインシート（7ページ）をもとに、薬局スタッフ全員でイベントの企画を考えてみましょう。スタッフの役割分担もその時に話し合っ決めてみましょう。

### ▼ 実施手配（1カ月前）

会場を予約したり、レンタル備品などを発注しておきましょう。

### ▼ 告知・宣伝（1カ月前）

ポスター、チラシ、ホームページ、SNSなどを使って告知しましょう。地元メディアなどを活用してPRするのも効果的です。

### ▼ 開催準備（1週間前まで）

簡単な運営マニュアルを作成するとよいでしょう。記録として当日の様子を撮影しておくことをおすすめします。

### ▼ イベント当日

笑顔を忘れずにスタッフも楽しい一日を心掛けて！記録のためにもカメラに収めておきましょう。

### ▼ アフターフォロー（開催後1カ月以内）

スタッフ全員でレビュー会議を行いましょう。参加してくれた方にお礼のハガキやメールを送るなどのアフターフォローも忘れずに。薬局のHPやブログ、SNSなどに報告ページをアップすることもおすすめです。

# LINE 公式アカウントを活用しよう!



## LINE公式アカウントを活用してお客さまと スマホでつながろう

LINEのユーザー数は月間利用者9,700万人(2024年9月末時点)、日本の人口の約70%が利用しています。LINEを活用して薬局とお客さまとのつながりをつくる必要があります。class A では薬局の LINE公式アカウントの活用を推進するサポートサービスを提供しています。お友達登録による薬局のファンづくり＝顧客化に挑戦してみませんか?



## Web Info からダウンロードしよう!

まずは LINE 公式アカウントをこれから始めたい、またはすでに持っている方に使っていただける「薬局の LINE 公式アカウント用ポスター&リッチメニューデザイン」が Web Info からダウンロードできます。リッチメニューのデザインは 2 種類、ポスターも 3 種の中からダウンロードできます。

### ■LINE公式アカウント用ポスター (3 種・パワーポイント形式)

ご希望のデザインをクリックしてポスターをダウンロードし、赤枠の部分を変更して使用します。

[Web Info]→[ダウンロード]→[LINE公式アカウント用ツール] よりご覧ください。



### ■LINE 公式アカウント用リッチメニューデザイン (2 種・jpeg 形式)

リッチメニューのテンプレートに合わせて組み合わせて使用することができます。色はカラーと単色の 2 種類。[Web Info]→[ダウンロード]→[LINE公式アカウント用ツール] よりご覧ください。



### ■元気応援メッセージ メッセージ配信用画像(jpeg 形式)

毎月の元気応援メッセージをLINEのメッセージ配信に活用できるように配信用の画像をダウンロードできます。前月の 20 日に Web Info にアップされます。

[Web Info]→[ダウンロード]→[LINE公式アカウント用ツール] よりご覧ください。



# 集客に案内チラシを作成しよう!

## ● チラシは手渡しがおすすめ! です

### 構成を考える!

予定している大きさの紙に、手描きで簡単に下書きをしてみましょう。細かな内容まで入れこみ、下書きができれば、その内容をエクセル、ワード、パワーポイントなど、使い慣れているソフトで作成します。

### デザインする!

文字に色や囲みをつけて変化をつけたり、イベントのイメージが湧くイラストや、スタッフの写真を載せるなどアイデアはさまざま。ただし、詰め込みすぎは厳禁。あくまでも見やすいように適度な余白を残すことも必要です。



### イベントタイトル

タイトルは、イベントのキャッチコピーのようなもの。「行ってみたいな!」と思ってもらえるようなタイトル付けが必要。

### 必須項目

必須項目。わかりやすく大きめに。

### 開催日時・場所

出来るだけ具体的に。費用や予約が必要な場合は記載。



### 主催薬局情報

薬局名、住所、電話番号、営業時間、ホームページ URL、地図など。

ここに掲示しているポスターはすべてご自由に使用できます

これらのポスターのテンプレートは参加薬局専用ページからダウンロードできます。イラストは著作権フリーですので、自由にお使いいただけます。



## ● デザインに困ったら

チラシのデザインに困ったら、インターネットから無料でさまざまなテンプレートをダウンロードすることをおすすめします。さらに、印刷からポスティング(チラシを各自宅の郵便受けに投入すること)まで依頼することができる業者もあります。必要に応じて、外部発注を利用しましょう。

〈参考〉

- ラクスル <https://raksul.com> ※ポスティングまで依頼可能
- プリントパック <https://www.printpac.co.jp/>
- パプリ(アスクル) <https://spc.askul.co.jp/print/flyer>
- グラフィック <https://www.graphic.jp>

# イベントの周知、集客の方法

## ● チラシ

実施する薬局や、近くのスーパーなどの店舗、幼稚園などの施設にチラシを置きます。来ていただきたい対象を考えて、チラシの置き場所を決めましょう。

近隣のお店や施設などに、チラシの設置をお願いするのも効果的です。

### 注意

チラシを置く際には施設の許可が必要になります。チラシはラクスル等のテンプレートを使って簡単に作ることもできます。

参考：<https://raksul.com/template>

## ● 対面で伝える

イベントに興味がありそうな方に声かけをしましょう。薬局スタッフの知人や友人にも声をかけていただくようにします。

### 注意

日頃から外部のイベントにも参加し、イベントに参加する方を増やす努力も重要です。誘った人の知人の方にも来てもらえるように、詳細情報が書いてあるチラシを渡します。

## ● ホームページ・SNS

イベントの概要や様子などを薬局のホームページや SNS に掲載します。なるべく楽しそうな写真、おいしそうな写真を使い、思わず行きたくなるように紹介しましょう。

### 注意

イベントの活動状況や準備の進捗状況などを更新するようにします。スタッフが持ち回りでブログの発信をしてもよいでしょう。SNSなどと連携をすることで、より集客の効果があがります。

## ● DM

たくさんの人にイベントの案内ができます。日頃からイベント告知用にお客さまの個人情報を集めておく必要があります。

### 注意

効果を高めるために、手書きのメッセージを書き添えます。DMの案内をする場合、DMの目的を表示し、個人情報保護法を順守した配慮が必要です。

## ● ニュースリリース

メディア (TV・新聞・雑誌・Web サイト) にプレスリリースを送ります。地元メディアや業界メディアに取り上げてもらうことで、効果的な広報ができます。地域密着のケーブルテレビやフリーペーパー、情報誌など、地域イベントなどの情報を求めているメディアもあります。

### 注意

誰のための、どんなイベントで、どんなメリットがあるか、イベント自体の情報価値を検討する必要があります。どんな読者に読んで欲しいかを考え、メディアを選択します。普段から、地域の情報がどこに告知されているか、市報や区報など掲載できる場所がないかなど、チェックしておくことをおすすめします。



# 元気応援イベント デザインシート

イベントを企画する際には、まず目的を明確にすることから始めます。下記の6つのステップでイベントを企画してみましょう。

## 1. 〈WHY〉開催目的を整理する（なぜ開催するのか？）

---

---

---

---

## 2. 〈WHAT〉ゴールを確認する（何を伝えるか？ 何をするか？）

---

---

---

---

## 3. 〈WHO〉参加者を想定する（どんな人に参加してもらいたいのか？）

---

---

---

---

## 4. 〈WHEN〉開催日時を決める

---

---

---

---

## 5. 〈WHERE〉場所を決める（屋内・屋外・薬局以外）

---

---

---

---

## 6. 〈HOW〉予算と集客方法を決める

---

---

---

---

開催日ごとに当日の役割・準備するものなどを書き出し、スタッフで共有しておきましょう。次ページのシートを参考にしてください。

# 当日の役割・準備物・スケジュール

---

●開催日時： 月 日（ ） 時 分～ 時 分

●イベント名：

●役割分担：

●準備のスケジュール：

●イベント開催のスケジュール：

●準備物（掲示物・配布物など）：

●その他注意事項：

# 試食会・試飲会

ここに掲載した事例は各薬局で実際に取り組みられた実例です。これらを参考に皆さんもお店

## 管理栄養士による栄養相談

### ●みやこ薬局（京都府） <https://miyako-ph.co.jp/>

京都府内に10店舗あるみやこ薬局では、毎月試食会や測定会を開催している。試食会・試飲会のイベントは、大塚食品のマイサイズをはじめ、各店舗で販売している栄養機能食品や、くず湯や減塩昆布茶、経口補水液など、季節に合わせたものを企画している。

イベントに合わせて管理栄養士による栄養相談の時間も設け、地域の健康リテラシーを高め、また食事の改善提案を行うことで、地域の方の健康維持や未病予防に大いに貢献している。予約が必要なイベントでは、処方せんを持たないお客さまから事前に予約が入るといふ。

年4回発行の「管理栄養士だより」や、いつでも管理栄養士による相談ができる会員制の「みやっこ倶楽部」などの薬局の幅広い健康支援活動につながっている。



季刊で発行している管理栄養士だよりの「彩食健備」は彩りある食事で健康な体が備わるようにという思いが込められている

## 日替わりメニューで開催

### ●リヒト薬局（埼玉県） <https://sunarx.co.jp/licht/>

「薬局へ行こう！ウィーク」期間中の1週間、日曜日を除き日替わりメニューでイベントを開催したリヒト薬局では、さまざまな商品の試飲・試食会も管理栄養士のスタッフが中心となり実施した。

「もっちり麦」の試食会では、ひと口大に丸めたおにぎりを、提供の間際まで炊飯器で温かく保温して食べやすさに工夫を凝らしている。測定会では、測定結果を伝えながら、管理栄養士が食事や運動の提案をすることで、リヒト薬局が健康相談窓口であることの意識付けにも繋がっている。



「もっちり麦」の商品説明を加えながらの試食提供

## ポスターや小銭トレイを使って告知

### ●おくやま薬局（滋賀県）

2023年の「薬局へ行こう！ウィーク」の活動でははじめて「もっちり麦」の試食会にチャレンジした。試食会では通常のもっちり麦入りおにぎりと、コーン入りのおにぎりの2種類を用意した。店内に多数貼られたポスターや小銭トレイを使った告知などが功を奏し、当日は試食会を目標にたくさんのお客さまが足を運ばれ、20個ほど販売することができた。後日もリピート購入されるお客さまから食事に関する問い合わせも増え、試食会開催の手応えがあったという。

おくやま薬局では、奥山頭義薬剤師の結婚を機に管理栄養士の資格を持つ妻の博美さんが加わり、積極的に栄養相談の取り組みを始めた。調剤の待ち時間に積極的に声掛けを行ったり、毎月作成する栄養に関するフリーペーパーを配布するなどの活動で、「管理栄養士に栄養相談ができる薬局」としての認知が浸透し始めているという。



朝食の写真を見せて相談する男性

独自のイベントを開催し、地域の皆さんへアピールしましょう。

## 自社オリジナルの漢方茶の試飲

●株式会社薬心堂（福岡県） <https://www.yakushindo-job.jp/>

薬心堂の取り組みとして特徴的なのは、医療事務の役職名「メディカルパートナー」である。その仕事も名前の通り事務だけではなく、健康イベントを実施する際には自社オリジナルの漢方茶の試飲を積極的に呼びかけたりするのが中心的な役割である。薬心堂薬局伊田店では、漢方カフェを併設する漢方薬を100種類以上揃えた薬局であるため、自局で作る漢方茶の他に、地元の人の手作りのアクセサリやお味噌、季節によっては筍まで置いていることもある。

薬剤師も、メディカルパートナーも、薬心堂のスタッフはみんなが同じ理念と目標を持っているため、イベント開催時には薬剤師とメディカルパートナーが共にチームメンバーとしてそれぞれの役割を担っている。



店舗のひとつ、さかい調剤薬局では「薬局へ行くこう！ウィーク」の期間中に3種類の漢方茶の試飲をメディカルパートナーが行った

## 機能性表示食品で試食会を立案

●れもん薬局（滋賀県） <https://www.e-classa.net/lemon-yakkyoku/index.html>

服薬指導の際、一人暮らしの方が「食事に手間と時間がかかってしまい、十分に栄養が摂れていない」という話を聞きとったことから、試食会を立案。大塚食品の「マイサイズプラスサポート」を試食してもらった。

実際の企画・運営は事務スタッフを中心に行なったが、「手軽で便利でこれならいいわ」「塩分控えめなのに味はしっかりしている」「孫が来るから一緒に食べられるのがいい」など、普段聞けない生活の話も聞くことができた。中にはダイエット食と勘違いしている人もいたが、事務スタッフが商品の説明をきちんと行い、栄養摂取の大切さについてお話できる機会となった。



大塚食品「マイサイズプラスサポート」を試食提供



### 薬局で商品販売や食事や栄養の相談ができることをアピールしましょう

1. 店内のポスターだけでなく、薬局のWebサイトやLINE公式アカウント、その他のSNSを活用して試食会・試飲会の告知をしましょう。サンプルなどのお土産がもらえることも告知すると集客につながります。
2. 管理栄養士さんがいる薬局では、定期的に管理栄養士による食事相談会を開催し、カレンダーなどで告知することで「食事の相談ができる薬局」として地域の方に認知してもらえます。
3. 「みんなのヘルスケア—食事と栄養—」（class A 会員限定）を活用してミニセミナーを同時開催すると、試食とともに毎日の食事と栄養の大切さを知っていただく機会になります。

みんなのヘルスケア Web Info>基本サービス>みんなのヘルスケア

# 測定会・健康チェック

## 肌年齢・血管年齢・脳年齢測定を毎年実施

●ヒロ薬局（神奈川県） <https://www.e-classa.net/hiroyakkyoku/index.html>

ヒロ薬局では毎年の「薬局へ行こう！ウィーク」に健康イベントや測定会・健康相談会を実施している。測定機器は神奈川県薬剤師会の協力を得て、貸出してもらっている。毎年測定することが周知されてきており、前年の測定結果と比較して「今年の数値はよくなりましたよ」とお伝えすることで、毎年の健康のバロメーターとして測定イベントを活用している。

イベントの企画から準備、実施まではこのイベントマニュアルの「イベント当日の役割・準備物・スケジュール」（08 ページ）を活用して、スタッフ間で共有できるようにしていた。



肌年齢計・血管年齢測定計・脳年齢測定計を設置し、無料で測定できるコーナー

## 年に一度の「骨密度測定会」

●おぐりす薬局（京都府） <https://www.e-classa.net/ogurisu/index.html>

相談薬局として創業していたものの、近年では調剤中心でOTCの相談・販売が減少していたため、処方せんがなくても来店いただけるように年に1度の「骨密度測定会」を実施している。

測定後は結果をもとに食事や運動などについてお客さまにアドバイスをしたり、骨に関する説明資料や class A が提供する「みんなのヘルスケア ー骨粗鬆症ー」のスライド資料を使って説明をするなど、地域の皆さまに「薬局＝相談できる場所」だと気づいていただける機会になっている。



測定後、食事や運動などのアドバイス。お客さまと一緒にドキドキ……

## 「薬栄」連携して、血流スコープを使って「毛細血管をみてみよう」

●ABC薬局 水無瀬店（大阪府） <https://abc-ph.co.jp/index.html>

「薬局へ行こう！ウィーク」の期間中、「毛細血管をみてみよう」イベントを実施、血流スコープを使って指先の血流をお客さまと一緒に画面を見ながら確認する。毛細血管のねじれ・太さ・濁りなどから、薬剤師と管理栄養士が健康のアドバイスを行い、お客さまの状態に合わせたヘルスケア商品をプレゼントした。

はじめは自身の血流チェックに怖がっていたお客さまも、画面で血流をしっかりと目視できることで、スタッフのアドバイスに熱心に耳を傾けられる姿勢に変わっていったという。



薬剤師と管理栄養士が連携して測定結果だけでなく、日頃の生活習慣やお悩みなどの話が聞けた

## 野菜摂取チェックと握力測定を実施

●いちい薬局（青森県） <https://ichiidrug.co.jp/>

いちい薬局鯉ヶ沢店では、野菜摂取チェックができるカゴメの「ベジチェック」を使って測定会を実施した。測定結果をもとに、日頃からの野菜摂取や食物繊維摂取の大切さをお伝えし、もちり麦の試食とともに「毎日の主食で食物繊維が取れますよ」などのアドバイスとともに販売に繋げている。いちい薬局鶴田店では、握力計を置いて握力測定を実施、ランキング表を店内に掲示してアピールした。どちらもイベント期間中、Instagramでイベントの様子を配信し、気軽に立ち寄れることをアピールした。



手のひらを置くだけで測定できる「ベジチェック」をレンタル



握力測定のランキング表

## ロコモチェック（立ち上がりテスト）がきっかけで運動が習慣に

●小林薬局（鳥取県） <https://kobayashipharmacy.jimdoweb.com/>

「薬局へ行こう！ウィーク」の期間中に実施するイベントは、日々の業務の中でできる範囲で実施することを念頭におき、スタッフの興味のある部分話し合いながら企画している。

椅子に座って片足を上げて立ち上がりテストを行い、ロコモ度をチェックする測定会を実施すると、イベントが終わって1カ月ぶりに来局したお客さまが、自ら立ち上がりテストに再挑戦することとなった。この薬局で体験したロコモチェックがきっかけで、筋力が弱っていることを自覚し、意識的に毎日2階の階段を上がるなどして身体を動かす習慣をつけるようになったという。薬局でのイベントが行動変容につながる事例となった。



椅子に座わり片足を上げたまま立ち上がる



### 測定機器はレンタルがおすすめ

- 測定機器は、地域の薬剤師会などで貸し出しをしているところもありますが、レンタルしているところもあります。
  - 糖化年齢・肌年齢測定など：メディケアー 24 <https://medicare24.co.jp/>
  - ベジチェック：カゴメ <https://healthcare.kagome.co.jp/service/vege-check>
- 歯周病リスク検査キット「アドチェック」<sup>※</sup>を使って、お客さまの現在の口の健康状態を知っていただく測定会も行えます。※「アドチェック」はメディパルグループで取り扱っています。MP 商品コード：47533092
- 骨の健康度チェックの測定会では、「みんなのヘルスケア—骨粗鬆症—」（class A 会員限定）を活用してミニセミナーを同時開催すると、測定値から骨の健康の大切さを知っていただく機会になり、受診勧奨につながることもあります。  
みんなのヘルスケア Web Info>基本サービス>みんなのヘルスケア

# 体験会・勉強会・教室

## あえて薬局で通常体験しないイベントを開催 フラワーアレンジメント・ヘッドマッサージ&ポイントメイクアドバイス

●久留米中央調剤薬局（福岡県） <https://www.e-classa.net/kurume-chuo/index.html>

久留米中央調剤薬局では、「薬局へ行こう！ウィーク」の期間のイベントとして、あえて薬局で通常体験したことのないイベントを開催し、薬局へ来たことのない方の参加を促す機会となった。

また、薬のことではなく、いつもと違ったイベントや体験会を共有することで患者さんとより親密な関係ができ、次回来局の時に会話が増える効果が見えた。



メイクアドバイス



健康講座

## バーテンダーを招きカクテル教室を開催

●あんず薬局（佐賀県） <https://www.anzu-pharmacy.co.jp/>

あんず薬局では、「薬局へ行こう！ウィーク」の期間、毎日違うイベントを開催、その中のイベントとして、県内のバーテンダーを講師に招き、自宅で簡単に作れるオリジナルカクテル（ノンアルコール）教室を開催した。子供から高齢の方まで幅広い年代の方が参加し、終始笑顔で楽しめる会となった。

また、イベントをきっかけに初めて薬局を訪れる方もあり、「身近に相談ができる居心地よい薬局」を体験していただいた。



オリジナルカクテル教室

## 大人の折り紙教室を毎月開催

●天心堂梅崎薬品（福岡県） <https://tenshindo-pharmacy.com/>

地域の皆さまへ向けた健康づくりのサポートとして、脳の活性化のための大人の折り紙教室を毎月開催しており、毎回多くの方が参加する人気のサークルとなっている。

その集客の要になっているのがスタッフのチーム力にある。手作りのチラシはもちろん、来店時のコミュニケーション、来店後に出す手紙など、常にお客さまと接する時間と機会を逃さない。



人気の折り紙サークルは、和やかなコミュニケーションの場になっている



折り紙サークルの作品集

## 子ども薬剤師体験を開催

●フクシマ薬局（愛知県） <https://www.e-classa.net/fukushimaph>

フクシマ薬局では普段あまり知られていない薬局のことや薬剤師の仕事を知ってもらうために、「子ども薬剤師体験」を開催、当日は5歳から10歳までの3時間の予約枠が20名の参加で埋まった。体験用分包機はメーカーよりレンタルし、子供用の白衣は特別に用意した。

PTP包装した子ども用チョコを薬剤に見立て、オレンジジュースを使って水剤として計量するなどの体験を行ってもらった。一緒にきた保護者の方にも喜んでもらい、「普段もらっている薬のことや薬局のことが身近に感じられてよかった」という声が聞かれた。



地域の子どもで予約枠がいっぱいに。保護者の方にも好評だった

## 月に1度、アロマのハンドトリートメントを実施

●オリーブ薬局（大阪府） <https://www.e-classa.net/olive-amika/index.html>

オリーブ薬局では、管理薬剤師の近藤崇社長が薬とヘルスケア商品を、アロマセラピーインストラクターの資格を持つ妻の沙織さんがアロマセラピーで、地域の方の心と身体の健康を支援している。

薬局内では月に1度のイベントとして「日本産アロマのハンドトリートメント」を実施し、「薬局」と「アロマ」を結びつけている。



日本産のアロマを取り扱っている



アロマハンドトリートメントは依頼があれば出張講座も行う



### 普段薬局を利用しない人に来てもらう絶好の機会に

1. 薬局での体験会や教室は、あえて薬局で通常やらないテーマを用いると、薬局を利用したことがない方々にも来ていただける絶好の機会になります。薬局のスタッフや近隣の方に声がけて講師になっていただける方を探すところからイベントを企画するのもよいでしょう。
2. 子ども薬剤師体験を実施する際、ユヤマにて無料で子ども薬剤師体験用の分包機の貸し出しもあります。  
【お問い合わせ先】(株)ユヤマ営業企画部 担当：吉見隆宏 06-6332-2580
3. アロマハンドトリートメントは、お客さまとのコミュニケーションを図るためにも有効です。ハンドトリートメントは資格がなくても行えます。事前にスタッフ間でよく練習をしましょう。  
【簡単！】ハンドマッサージの手順方法2人用 | 資生堂 <https://www.youtube.com/watch?v=nB9DWaan1YA>

## リハビリテーションクリニックと散歩&相撲部屋見学ツアー

●オリーブ薬局（東京都） <http://kenbikan.co.jp/>

オリーブ薬局では健康サロン「オリーブカフェ」を毎月実施していたが、さらにカフェの参加者と一緒に近隣を散歩するようになり、「オリーブカフェ・さんぽ」は人気の健康イベントとして定着していた。

コロナ禍の3年間はやむなく活動を休止していたが、2024年6月に再開し、特別企画として、運動器リハビリテーションクリニックとのコラボレーションにより、墨田区内にある相撲部屋の鳴戸部屋を見学するツアーを実施した。参加した皆さんは1時間近く真剣に朝稽古の様子を見学し、稽古後には力士の方への質問タイムが設けられ、「どうやって体を大きくしているの?」「四股を踏む時に足がよく上がるね」など楽しい会話で盛り上がっていた。



鳴門部屋の前で全員で記念撮影

## 協賛企業提供の賞品を獲得できるウォーキングイベント

●井上薬局（群馬県） <https://oriduru.com/>

「前橋歩き愛です」と題したこのイベントは、専用の歩数計を持ってウォーキングをし、歩数に応じて協賛企業提供の賞品を獲得する。チェックポイントでスタンプを獲得したり、クイズに答えてボーナス歩数がもらえるといった、参加者がゲーム感覚で楽しみながらウォーキングができる。イベント当日以降も「歩き愛です」の歩数計を薬局に持参することで、パートナー企業によるサービスや優待が受けられる。

参加した150名は、お子さん連れからカップル、アクティブシニアと幅広い年代層の方で占められ、中には隣県から参加している人もあった。96%の高い満足度で、次回もぜひ参加したいとの期待が多く寄せられた。



「前橋歩き愛です」と題したイベントは参加者がゲーム感覚で楽しみながらウォーキングができる

## 健康アップ教室参加後に「やくぜんカレー」を販売

●萬屋薬局（山形県） <https://www.yorozuya-yakkyoku.jp/>

萬屋薬局では、調剤に留まらず、訪問看護ステーション、認定栄養・ケアステーション、カフェの営業などを実施している。毎月開催している「健康アップ教室」では、行政との連携も実現。提携する医療機関から健康運動指導士らを招き、カフェスペースを活用してエクササイズなどを実施。さらに毎週水曜日は季節に合わせた萬屋薬局オリジナルの「やくぜんカレー」の販売も行っており、健康アップ教室参加後にこのカレーを食べるのを楽しみにしている参加者も多いという。

コンテンツは多様で「珈琲の健康効果」や「川柳コンテスト」など健康を楽しむ「よろずごとイベント」を開催しており、積極的な健康情報発信を行っている。



毎週水曜日にはオリジナルの「やくぜんカレー」を販売している

## 2階のスペースでストレッチ体験教室を開催

●かわしま薬局（鳥取県） <https://www.kawashima-ph.com/>

かわしま薬局はカフェとコミュニティスペースを併設した2023年4月に開局した新しいスタイルの薬局である。「健康の森」をイメージして作られた2階のスペースで週に2回「スマイルブルーム」という体操教室を開催している。

「薬局へ行こう！ウィーク」の期間中にもストレッチ体験教室を開催し、教室に参加した多くの方がまた参加したいと、週に2回の「スマイルブルーム」へのお申し込みをされるなど、日頃の薬局での活動を周知するよい機会になっていた。



30分のストレッチ体験で、身体の歪みが解消できたという体験者も

## シナプソロジー体験教室を開催

●マスカット薬局（岡山県） <https://muscat-pharmacy.jp/>

岡山県にあるマスカット薬局では、「薬局へ行こう！ウィーク」の期間中、各店舗ごとに健康イベントを企画し、開催している。児島店では、「シナプソロジーでいつもイキイキ♪脳と体の健幸体操」と題し、シナプソロジー体験教室を開催した。

シナプソロジーとは「2つのことを同時に行う」「左右で違う動きをする」といった普段慣れない動きで脳に適度な刺激を与え、活性化を図ります。複数人で楽しく行うことで、感情や情動に関係した脳も活性化され、認知機能や運動機能の向上と共に、不安感の低下も期待できる体操です。

コロナ禍で家にこもりがちになっていた方々も、いきいきとした表情で運動を楽しんでいる姿があった。



シナプソロジーは、どんどんステップアップして脳を活性化する運動（児島店）



ここがポイント！  
**POINT**

### 定期開催で運動やウォーキングの習慣を作る

1. 運動やウォーキングの習慣を作ることは大切ですが、なかなか自分ひとりではやらないものです。薬局で定期的イベントとして開催することで、習慣化し、健康になったという声も数多く聞きます。ぜひ定期的に薬局でイベントとして開催することをおすすめします。
2. 薬局内で実施するスペースがない場合は、屋外や公共施設を利用してみましょう。薬局に集合して目的地まで歩くイベントとしてもいいでしょう。その際には、事前にコースや施設をチェックしておきましょう。
3. シナプソロジーインストラクターに講師を依頼すれば、ご自分の地域で開催することができます。  
シナプソロジーインストラクター 講師依頼：<https://synapsology.s-re.jp/lecture.request/>

# イベント・コンサート

## 七夕の短冊に願いを書こう

●杉岡調剤薬局（福岡県） <https://www.e-classa.net/sugioka-ph>

杉岡調剤薬局の取り組みでユニークなのは「七夕神社奉納の短冊に願いを書こう」のイベントだ。薬局内には七夕の竹笹が飾られ、用意された短冊に思い思いに願い事を書いてもらう。そして7月7日の七夕の日に近隣の「七夕神社」に短冊を奉納する。保険薬局が「地域の縁側としてふらっと来られて交流の場になるように」というのが願いだ。そのために「薬局へ行こう！ウィーク」のこの機会を活かし、お薬だけでなく日常からのつながりを作る活動を行っている。

杉岡調剤薬局に飾られた竹笹にはたくさんの願い事が短冊にこめられた



## 認知症サポートイベント「RUN伴（ラントモ）」に参加

●白澤薬局段上店（兵庫県） <https://www.e-classa.net/hactacdanjyou/index.html>

RUN 伴（ランとも）は、今まで認知症の人と接点がなかった地域の住民や企業、商店などが、認知症を生きる本人や家族、医療福祉関係者などと一緒にタスキをつなぎながら走る、まちづくりのイベントである。

白澤薬局段上店では、日頃から認知症サポーター養成キャラバンメイトとして「認知症サポーター養成講座」を一般の方や大学、病院の職員向けに定期的に行ったり、市民向けに講演を行ったりしているが、この「RUN 伴」の中継点に白澤薬局がなることで、一般の方の認知症への理解を深める一助を担っている。



白澤薬局を「RUN 伴」中継点に提供

## 懐かしの映画鑑賞会

●まなべる薬局（宮崎県） <https://mannabell.com/>

まなべる薬局は「来るだけで元気になって、元気がもらえる場所に」という思いで、地域の人たちに宮崎大学吹奏楽部のコンサートや、クリスマスコンサートなどのさまざまなイベントを開催している。

「懐かしの映画鑑賞会」では、著作権切れの映画の上映会を定期的で開催している。上映前には当時の新聞記事や音楽の情報を事前に調べてご案内し、上映後はおしゃべりタイムを設けて上映当時にタイムスリップして若返ってもらうねらいがある。

※映画によっては字幕や挿入歌の著作権が放棄されていない場合がありますのでご注意ください。※新聞記事の紹介についても制限事項がありますので利用の際はご注意ください。



上映前には薬局スタッフが上映当時の状況を解説

## バイオリンとピアノのミニコンサート

●げんき堂薬局（佐賀県） <http://genkido-ph.jp/>

2017年、「薬局へ行こう！ウィーク」の初年度のイベントとして「バイオリンとピアノの癒しの音楽」のミニコンサートを地域のリサイタル会場を借りて開催し、約140人の地域の方が参加する大きなイベントになった。

コンサートでは、薬剤師による「生活習慣病患者さんに関わるお薬の話」や歯科医による「安心して食べられる口づくり」などの講演も実施、ロビーでは動脈硬化進展度チェックやお薬・栄養相談なども実施し、約140名の方に薬局が地域の健康を守ることをアピールするきっかけとなった。



地域の人、140人ほどが集まった。会場ロビーでも相談会を実施した

## ギター演奏会

●岡村薬局（大阪府） <http://www.suita-okamura.com/>

岡村薬局では、2019年の新春イベントとして「ギター演奏会」を薬局で開催した。薬局の待合室に椅子を並べただけの会場であったが、平日の昼間の開催に16名の方が参加された。

バンドの方々とお客さまと一緒に歌を歌い、心を通わず楽しいひとときを共に過ごす機会となった。演奏会を引き受けてくれたバンドの方々は、岡村俊子社長の亡きご主人の仲間たちで、ボランティアで演奏会を引き受けてくれた。



待合室に椅子を並べて演奏会を開催。バンドメンバーは亡きご主人の仲間たち



### 季節の祭事や街で開催するイベントに合わせて開催

1. 薬局独自でイベントやコンサートを企画するのは大変です。できれば季節の祭事（お祭りやクリスマスなど）に合わせて開催したり、街や商店街で開催するイベントに合わせて開催するといでしょう。
2. 薬局以外の場所で開催する際には、薬の相談コーナーなどを併設して、いつでも薬局に相談に来てもらえるようアピールしましょう。
3. 「薬局へ行こう！ウィーク」の際のイベントでも、薬局以外のところとコラボレーションして開催する事例も見られました。

# 地域連携・薬局・薬剤師会連携

## 魚の移動販売との連携

### ●柿の木薬局（岡山県） <https://p-kakinoki.jp/>

「薬の前に食事が大切」であることを日頃から唱えてきた柿の木薬局。10年ほど前、地域の食を支えていたスーパーマーケットがなくなり、高齢者が多いこの町で食品の買い物がとても不自由になっていることに問題を感じ、柿の木薬局が地域の皆さんに「良い食」を提供したいという思いから行動を開始した。週に1回、地域の魚屋さんの行商による移動販売を呼んで地域の方に利用していただく取り組みも始めた。

(左) 塩梅号が来る日を薬局のSNSで告知



魚の移動販売「塩梅号」を毎週楽しみにしている地域の皆さんは多い

## 地域の就労支援団体との連携

### ●キズナ薬局（山形県） <https://www.e-classa.net/kizunapharmacy2020/index.html>

キズナ薬局では、ある引きこもりの方を介して知った地元米沢の就労継続支援のNPO法人「から・ころ」との連携で、ここで作られた英字新聞のエコバッグを「薬局へ行こう！ウィーク」の際に配布した。

また、別の就労継続支援事業所である「ラ・ヴェリタ」とも連携し、ラ・ヴェリタで作られている焙煎コーヒー豆をオリジナルパッケージで配布した。これにより、薬局へ来る人に、地元の就労継続支援事業所の活動を広く知ってもらうきっかけになり、若者の社会復帰を手助けする薬局となっている。

英字新聞のエコバッグ



「ラ・ヴェリタ」で焙煎されたコーヒー豆は常時薬局で販売。もちり麦のフェルト細工はスタッフの手作り

## 「おかやまケンコー大作戦」事業への参加

### ●岡山県岡山市の薬局（岡山県） <https://www.city.okayama.jp/kurashi/0000008033.html>

「おかやまケンコー大作戦」は2019年から実施されたソーシャル・インパクト・ボンド（SIB）を活用した健康ポイント事業である。企業や金融機関、行政がそれぞれの強みや資金をいかし、健康づくりのためのサービスが身近な場所で受けられる環境を整え、市民の皆さんに日常生活に健康的な習慣を取り入れていただくことで、自然に健康になれるまちの実現を目指した事業である。

「薬局へ行こう！ウィーク」の期間中に、岡山市内の薬局がこの事業に参加し、店頭へのぼりを立てて岡山市と連携したイベントであることをアピールし、行政と連動した健康事業活動を行っている。

「薬局へ行こう！ウィーク」のフラッグと「ケンコー大作戦」ののぼりを一緒に掲げた（マスカット薬局東古松店）



## 墨田区行政と薬剤師会の連携イベント

### ●墨田区薬剤師会（東京都） <https://sumiyaku.jp/>

墨田区薬剤師会では早くから墨田区との連携を図り、「薬局へ行こう！ウィーク」と「すみだ薬局とつながろう」のキャンペーンを連携させるイベントを企画、会長である浅尾一夫さんが薬剤師会と行政のハブとなり、関連するさまざまな部署との地道な連携を行っている。

「すみだウォーキングマップ」の配布とウォーキングの啓発活動や、「ほっぷステップ！元気応援ガイド」の配布とフレイル対策の啓発など、薬局を発信源とした健康活動を墨田区と連携することで、地域に住む人々の健康を支えるのが薬局であることに貢献している。



「すみだ薬局とつながろうキャンペーン」に参加した薬局で配布されたパンフレット

## 「薬局へ行こう！ウィーク」の勉強会で賛同者を増やす

### ●川西市薬剤師会（兵庫県） <http://kawanishiyaku.or.jp/>

2019年から川西市薬剤師会では「川西市として、地域の薬局が一丸となって活動を実施する必要がある」と考え、薬剤師会所属の59薬局に対し、「薬局へ行こう！ウィーク」の参加を呼びかけた。

薬剤師会の中で勉強会を実施し、「薬局へ行こう！ウィーク」の活動の意義を伝え、13の薬局がこの活動に共感し、参加した。



意気込みを見せる、川西市薬剤師会会長の樋口淳一さん（右）と副会長の藤本高弘さん



日新堂薬局の藤本智子さん（川西市薬剤師会副会長）は、お薬に関するミニセミナーを初開催



### 普段からのつながりを大切に

1. 多方面との連携したイベント事例に共通するのが、「普段からのつながり」があることです。地域の薬剤師会はもちろん、薬剤師会と行政とのつながり、NPO法人や各支援団体とのつながり、地域のスーパーや商店街とのつながりなど、あらゆるところにつながりのきっかけはあります。
2. 薬局から連携したいところにイベント企画を持ち込む例もありますが、地域のイベントの会場として、薬局の場所を提供する連携の仕方もあります。多方面と連携したイベント企画は、次のイベント企画に発展することもあり、連携の輪が広がる機会を作ります。

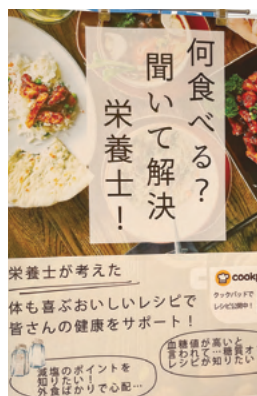
# イベントテーマ別

## 薬局ではじめての歯周病リスク検査を実施

●ラベンダー薬局（秋田県） <https://pands.jp/shop/shop-00037/>

「薬局へ行こう！ウィーク」の期間中に10名限定で歯周病リスク検査を実施した。薬局ではじめての歯周病リスク検査であったが、スタッフが測定結果の見方や数値の説明を丁寧に言い、歯周病がもたらすさまざまな病気や、口腔ケアの仕方や歯磨きの習慣などをアドバイスした。

また普段から行っている管理栄養士による栄養相談（無料）も同時にアピールし、薬局を活用して健康になってもらう機会となっている。



気軽に相談ができるよう工夫されたポスター



測定結果を丁寧に説明

## 地域の方へ感謝 わくわく健康フェア開催

●アイアイファーマシー（埼玉県） <https://aiiai-p.net/>

アイアイファーマシーで開催された「ワクワク健康フェア」は、地域の方々へ何か日頃の恩返しができないか、という気持ちからスタートしたものだ。

当日はコロナ禍で開催できなかった4年分を取り戻すかのような賑わいで245名の方に参加いただく大きなイベントとなった。フェアの運営もスタンプラリーでさまざまな体験コーナーやゲームコーナーを設け、参加者を飽きさせない工夫が見られた。



案内チラシは事前に上尾市内の幼稚園や小学校など15箇所に配布した



たくさんのワッペンやカラーペンを使って自分だけのトートバッグを作る



### イベントのテーマと目的を明確に

1. イベントの企画に重要なポイントは、「イベントのテーマと目的を明確にすること」です。イベントのテーマと目的を明確にすると、どんな人に参加してもらうのか、その人たちに参加してもらうためにどのような告知をすればよいかなど、その後の企画・運営がスムーズになります。
2. 07ページの「6つのステップで簡単！元気応援イベント デザインシート」を使って、イベント企画を考えてみましょう。デザインシートの1と2をまず決めることで、具体的な3～6のステップを考えやすくなります。
3. アイアイファーマシーの「わくわく健康フェア」では、13のイベントコーナーを持ち、それぞれのスタッフが担当して企画から準備、当日の運営までを進めていました。大きなイベントになるほど、準備と役割分担が重要です。08ページの「当日の役割・準備物・スケジュール」を活用しましょう。

## 地元メディアにプレスリリースを発信

●ヒエズ調剤薬局（鳥取県） <https://e-classa.net/hiezupharmacy>

ヒエズ調剤薬局では、6月の「薬局へ行こう！ウィーク」のイベントとして歯周病リスク検査（アドチェック）の体験会を開催する旨を地域のメディアにプレスリリースとして発信したところ、山陰放送の夕方のローカルニュース番組「テレポート山陰」の取材を受けることになった。6月6日放映の番組内で「薬局へ行こう！ウィーク」と「口腔ケア推進活動」について3分ほど丁寧に紹介された。



放映の様子

## ケーブルテレビの活用

●オリーブ薬局（東京都） <http://kenbikan.co.jp/>

「薬局へ行こう！ウィーク」が始まる4日前の5月26日、墨田区のケーブルテレビ「J:COMチャンネル」に出演を思い付き、墨田区薬剤師会の活動で関わりがあった区議会議員に相談したところ、ケーブルテレビの担当者につないでもらい、出演が実現した。

取材では、スタッフ全員とイベントをサポートしてもらう管理栄養士の方にも登場いただき、ウィークのイベントを告知することができた。



スタッフが出演し、「薬局へ行こう！ウィーク」実施をPR



### メディアの活用にはニュースリリースの発行が有効

1. メディア（TV・新聞・雑誌・Web サイト）に取り上げられるためには、ニュースリリースを発行して送ることが重要です。地元メディアや業界メディアに取り上げてもらうことで、効果的な広報ができます。
2. 地域密着のケーブルテレビやフリーペーパー、情報誌など、地域イベントの情報を求めているメディアもあります。  
※Web Info にニュースリリースのひな型があります。

Web Info>元気応援プロジェクト>薬局へ行こう！ウィーク



NIPPON 元気応援プロジェクト

# 薬局へ行こう！ ウィーク 6.1・7

## 活動レポート 2025

「薬局へ行こう！ウィーク」は、毎年6月1日～7日までの1週間、薬局で健康イベントなどを開催し、薬局が地域の皆さまの元気を応援する場所として存在することをアピールするために2017年から始まった活動です。2025年の「薬局へ行こう！ウィーク」は、全国の保険薬局から352薬局の参加エントリーがあり、さまざまな健康イベントが開催されました。その多彩な活動の様子をレポートします。

### レポート1 「ねもカフェ」で睡眠セミナー開催

#### ●ねもと薬局（茨城県）

ねもと薬局では「地域とつながる・つなげる薬局」をモットーに、地域活動の取り組みの一つとして、6/11（水）14時から「ねもカフェ」を開催した。

この日は「聞いて得する睡眠のおはなし」をテーマに、薬剤師から睡眠不足の原因や睡眠薬について、よりお客さまの悩みに寄り添ったよくある質問などを交えた話があった。

当日はあいにくの雨だったが、時間に合わせてお客さまが来局され、ハーブティを飲みながらリラックスした雰囲気の中で会が催された。その後、管理栄養士からは睡眠の質を高める栄養素や食事をとるタイミング、実際にその食材を使ったおすすめレシピなど、より行動に移しやすい食事や栄養について話があった。参加者はメモを取るなどして熱心に話に聞き入り、さかんに質問をしていた。お帰りの際にはお土産として、健康食品をプレゼントしていた。

今回は日常での悩みや生活習慣病をテーマに取り上げたところ、参加者が増えたとのこと。健康への意識が高い方々が、興味のある知人と誘いあって参加するなど、地域の健康を支える場となっていた。



ねもカフェの案内チラシ



熱心に聞き入る参加者の皆さん



参加者の質問に答える管理栄養士の吉川雄貴さん

## ●ふたば薬局（埼玉県）

今年もアイアイファーマシーでは、グループ 24 店舗で「薬局へ行こう！ウィーク」に参加し、店舗ごとに企画から考え実施した。

上尾運動公園近くの閑静で穏やかな住宅街に位置するふたば薬局では「皆さまの健康をサポートする薬局」をモットーにかかげ、普段の食生活を見直すことで、地域の方々に元気になっていただきたいという思いから、管理栄養士による栄養相談会を実施した。

当日はあいにくの雨にもかかわらず、処方せんを持ってきた方にサンプルの飴の配布や、あらかじめ用意した食事の問診票を使って、話のきっかけを作るなど、食事や栄養について困っていることがないかについてお声掛けした。健康診断の結果を見ながら、管理栄養士の山際知莉さん（かすが薬局）は BMI 値が低いことに気がつき、その理由をお聞きしながら、毎月栄養部で発行している「管理栄養士新聞」や「腸に良い食事」の書籍を使って、胃腸にいい食事・普段食べるべき食材をアドバイスしていた。

また、「いつも主食のみを食べ、お肉や野菜を食べていない」という方に対しては、カット野菜や手軽に食べられる食事の提案をした。



←毎月発行している管理栄養士新聞



目線を合わせて相談にのる

栄養相談した方が、薬局を出られる際、管理栄養士さんの前で立ち止まり、丁寧に感謝を込めてあいさつして帰る姿があった。

「最初は何も話さなかったお客さまにも、悩みや不安を引き出すような声掛けを工夫している」と山際さん。人によっては、普段の悩みの深さから、30分、45分もかけて悩みを打ち明けておられた。この栄養相談会は 5 回目を迎え、「今回も来たよ！」と続けて参加される方もおり、薬局での栄養相談が定着してきていることが分かった。



(左から) 管理薬剤師の石橋玲さん。管理栄養士の山際知莉さんと柳澤泰江さん

## ●水戸薬局（東京都）

毎年「薬局へ行こう！ウィーク」に参加している水戸薬局は、東京都江戸川区・葛飾区に 12 店舗を展開する薬局である。今年も、通常こども食堂を運営している Openspace Mito と、そのお向かいにあるミツワ薬局第 2 高砂店で 6/1（日）に「おやこほけんしつ」を開催した。会場では、

**【販売】** 手作りのわたあめ、クッキーやスコーン、フライドポテト



来場者にはスタンプラリーシートが配布され全店舗が企画に参加した

【測定】貧血チェック、身長・体重・握力測定

【ワークショップ】オリジナルコースター・アロマサシェ作り

【セミナー】「子どもの救急対応」(順天堂病院・今西先生)

など、さまざまな企画コーナーが設けられ、会場は親子で参加される方でいっぱいになる盛況ぶりだった。また、会場ではスタンプラリーの台紙を配布し、ウィークの期間中に水戸薬局の他の店舗でスタンプを集めると景品がもらえる企画を実施し、期間中にはのべ約300名が参加した。なかでも10店舗全店を制覇した方が5名もいた。

休みの日にイベントを開催し、他の日にスタンプラリーで他の店舗と連携するという「地域社会の皆さまと信頼関係を構築する」をテーマにしている水戸薬局ならではのイベントとなった。



スタッフもイベントを楽しんでいる雰囲気がお客さんにも伝わる



手作りのお菓子コーナーは子どもたちに大人気



アロマ挿絵作りには親子で参加する方も



赤ちゃんの人形を使って異物を飲み込んだ時の対応方法を説明

## レポート4

# ヨーヨー釣り&経口補水液試飲会

### ●ABC 薬局かんまき本店 (大阪府)

グループの8店舗全てで「薬局へ行こう！ウィーク」に毎年取り組んでいるABC 薬局。

店舗ごとに趣向を凝らしたイベントを企画する中、住宅街にあり面  
対応薬局であるかんまき本店は、近隣にお住まいの方に薬局の存在  
を知ってもらい、身近な健康相談窓口として活用いただきたいと、  
子どもたちにも楽しんで参加してもらえるヨーヨー釣りを企画した。  
実習中の薬学生もイベントの運営に参加。下校中の小学生に声をかけると、  
たくさん子どもたちがヨーヨー釣り体験に集まって来て  
お店の前は大賑わい。



ヨーヨー釣りは近隣の子もたちで大賑わい

子どもたちの明るい笑い声に、道行く人も思わず笑顔になってイベントの様子を見学されていた。お土産には、商品サンプルと薬局のLINE公式アカウントのお友達登録を呼びかける案内書面を用意。親御さんへの、薬局利用に関するアプローチも試みていた。

店内では、管理栄養士が中心になって経口補水液の試飲会を実施。「以前の印象で、美味しくないと思っていたけど、飲みやすく美味しくなったのね！」と購入に繋がるケースも。熱中症は誰にでも起こりうる身近な危険であることの啓発と、対策のための情報発信を地域の薬局から実施した事例となった。



管理栄養士が商品説明を補足しながら試飲をすすめる



マイサイズ（大塚食品）のキャンペーンも好評

## レポート 5

# 熱中症予防！イオンウォーター試飲会

### ●マルゼン薬局（大阪府）

お薬・栄養・在宅で「地域の医療を守る！」をコンセプトに大阪市内に10店舗を運営するマルゼン薬局。改装オープンしたばかりの神崎川駅前店では、熱中症対策の啓発としてイオンウォーターの試飲会を実施。ちなみにマルゼン薬局は、薬剤師以外のスタッフはすべて管理栄養士である。

試飲したお客さまには、夏バテチェックリストにも回答いただき、夏バテになる可能性の高さを確認。お客さまに合わせて、管理栄養士が作成した夏バテ対策のためのレシピや食事を取り組める予防法などをまとめたオリジナルの書面を使って、アドバイスを行いながら、熱中症対策のための商品サンプルをプレゼントするなどして熱中症予防を呼びかけた。

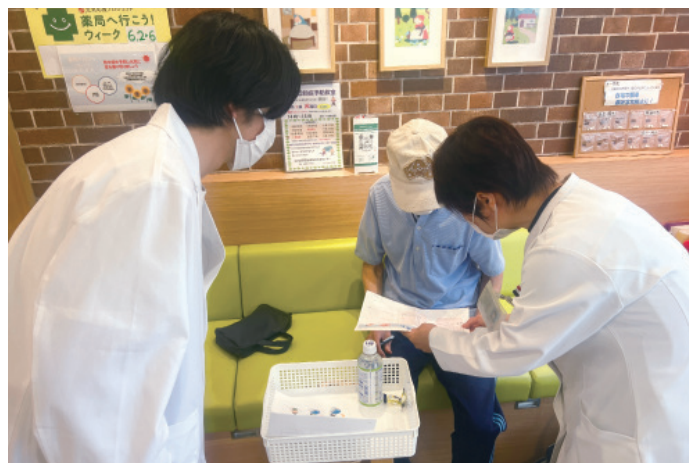
薬局で管理栄養士に食事のアドバイスをもらえることや、定期的で開催している栄養相談の周知にもつながる活動となった。



熱中症予防を訴求したディスプレイ



管理栄養士がイオンウォーターの試飲をすすめる



夏バテチェックリストに回答されたお客さんに適宜アドバイスを行う

# 「薬局へ行こう!ウィーク」公式サイトから 参加しよう!

HOME 「薬局へ行こう!ウィーク」とは 参加薬局一覧 お問い合わせ 薬局の方・エントリーはこちら

元気応援プロジェクト  
薬局へ行こう!  
ウィーク 6.1・7

私たちが薬局は、みなさまの健康な毎日のために、もっとお役にたきたいと思っています。「薬局へ行こう!ウィーク」は、健康づくりのイベントを通じて、健康についてもっと考えていただくための週間です。

「薬局へ行こう!ウィーク」は健康づくりに薬局を活用してほしいという思いから、薬剤師を中心に集まった「薬局の未来を創る 明日の委員会」の発案で始まりました。すべての保険薬局が参加可能です。ぜひご参加いただき、一緒に薬局の存在を地域にアピールしましょう。

「薬局へ行こう!ウィーク」参加エントリー <https://www.letsgopharmacy.net>



お問い合わせ

株式会社クラスAネットワーク

TEL:03-5778-9388 FAX:03-6368-5322

e-mail:info@i-classa.com

受付時間:月~金(祝日除く) 9:00~17:00

2026年版